

「いじめ見逃しゼロ」映像メッセージコンテストの表彰を行いました

「いじめ見逃しゼロ」をテーマとした映像メッセージ作品を募集し、小・中・特別支援学校・高等学校から合わせて27作品の応募がありました。

どの作品からも、「いじめをしない・見逃さない・許さない」との思いや、「いじめをなくすためにできることをしよう」とのメッセージが伝わってきました。

11月30日（木）の一次審査で13作品に絞られ、12月22日（金）の最終審査によって各部門の最優秀賞が、以下のように決まりました。

< 小学校の部 >	三条市立森町小学校	作品名「見逃さないで！」
< 中学校の部 >	妙高市立新井中学校	作品名「いじめ見逃しゼロ行動宣言」
< 特別支援学校の部 >	県立高田特別支援学校	作品名「心のキャッチボール」
< 高等学校の部 >	県立佐渡総合高等学校	佐藤 夏奈さん 作品名「つなぐ」

【最終審査会審査員(敬称略)】 ◎審査委員長 ○審査委員
 ◎宮 菌 衛 (深めよう 絆 にいがた県民会議 座長)
 ○小 島 友 昭 (NCC新潟コンピュータ専門学校長)
 ○今 井 美 穂 (地域活性化モデル)
 ○和 田 司 (新潟放送広報部長)
 ○永 田 広 道 (テレビ新潟放送網取締役報道制作局長)
 ○竹 石 徹 (新潟テレビ2報道制作局報道制作部制作グループ長)
 ○小 林 淳 (NST新潟総合テレビ報道制作部長)



【最終審査会】

2月7日の「第2回 深めよう 絆 にいがた県民会議」において、宮菌座長や今井 美穂様から表彰していただく予定でしたが、大雪のために県民会議が中止となりました。

そこで、事務局が各学校にうかがい、最優秀賞の表彰を行いました。



【森町小学校（3月1日）】



【新井中学校（2月26日）】



【佐渡総合高等学校（2月28日）】



【高田特別支援学校（2月26日）】



各学校では、賞状、副賞、トロフィーの贈呈が行われました。

最優秀賞の4作品は、このホームページや県の公式YouTubeチャンネルに掲載し、「いじめ見逃しゼロ県民運動」の啓発や授業等で活用を図る予定です。